

## 今年のテーマは STOP! 砂漠化

日本は「水に恵まれた国」でありながら、実は大変な水の輸入国です。世界中から輸入している農産物を生産するのに使う水がバーチャルウォーターといい、私たちはその「バーチャルウォーター」を年間60億トンも輸入しているのです。食糧の輸入は水の輸入に他なりません。砂漠化への加担は食糧の輸入だけに留まりません。日本の木材の自給率は20%で、世界の森を切って砂漠化に拍車をかけ、日本に大量輸入しているカシミアは砂漠化の激しいモンゴルの草原を食べるヤギの毛から作られています。私たちは知らず知らずのうちに世界の砂漠化に手を貸してしまっているのです。

まだ地球のそこかしこには美しい自然が残されていて、いろんな生き物たちの息吹きを感じられます。しかし近年、気候が変動し、地球のあちこちから悲鳴が聞こえてきます。果たして私たちは美しい地球を子供や孫たちの世代に引き継いでいけるのでしょうか・・・。

しかし、今こそ私たちは現実から目をそらすことなく、決して失望せず、諦めず、たゆまず、一本の木から植えていくしかないのだと思うのです。まさにエチオピアの乾いた大地と繰り返される飢餓は地球の未来であるし、またそこにフー太郎が根付かせた木々や水を湛えた溜池は私たちの「希望」だと思うのです。

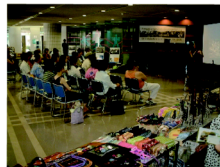
フー太郎の森基金理事長 新妻 香織

### キャンペーンの日程表

日付	開催地	会場	日付	開催地	会場
7月21日 (土)	佐賀県みやき町	光浄寺本堂	7月29日 (日)	(移動日)	
7月22日 (日)	熊本県水俣市	水俣市総合もやい直しセンター	7月30日 (月)	山梨県北杜市	蔵やグリーンズ
7月23日 (月)	宮崎県宮崎市	天空カフェ「ジール」	7月31日 (火)	東京都町田市	町田市立成瀬中央小学校 パソコン室
7月24日 (火)	大分県大分市	コンバルホール	8月1日 (水)	千葉県君津市	君津市君津中央公民館 講堂
7月25日 (水)	山口県岩国市	サンライフ岩国	8月2日 (木)	千葉県船橋市	きららホール (フェイスビル6階)
7月26日 (木)	島根県大田市	為山塾	8月3日 (金)	埼玉県川越市	クラッセ川越 6階多目的ホール
7月27日 (金)	鳥取県鳥取市	君津市津ノ井地区公民館	8月4日 (土)	福島県福島市	福島市野田町集会所
7月28日 (土)	岡山県岡山市	岡山ふれあいホール 小ホール	8月5日 (日)	宮城県仙台市	SS30ビル 地下1階・30階

### キャンペーンの内容

- 1、基金代表より活動についてのスライドとお話し
- 2、エチオピア駐在員・高原謙二の活動報告
- 3、古屋和子のひとり語り  
～宮沢賢治「虞十公園林」またはジャン・ジオノ「木を植えた男」
- 4、毛利大介コンサート
- 5、砂漠化防止とフー太郎の森基金活動のパネル展示
- 6、世界の森を守るための提案パネル展示
- 7、キャンペーングッズやアフリカグッズの販売





## 各会場から 寄せられた声

キャンペーンを終え、各会場の主催者の皆さんから寄せられた声を一部抜粋してご紹介します。

### ■島根会場

新妻さんのがスライドとともに語る「フー太郎の森」のお話はとても感動的。瀬の中には私たちの知らない世界があること。地球の危機が今どれほど深刻であるのか。普段思っても及ばないことを改めて気づかされる内容でした。タイトルに興味津々で集まっていた皆さんにも、食い入るように皆さんの話に引き込まれていました。来年もぜひ、仁摩町宅野の古民家に来てください。

(大田市・西尾 功さん)

古民家が会場となった島根県



### ■君津会場

支部ができることは「POD・伝えること」。植林を通して今、大変な思いをしている外国の人たちを思いやる気持ちが育ち、行動する勇氣、そして夢や喜びを分かち合える輪が広がってくれば、と願っています。小さなことでも美しい地球を守ってお手伝いなのだ」と思うと私自身、暗いニュースなど気にしていられない、とにかく動こう！と自然と元気になれるのです。

(君津市・川崎 いづみさん)

### ■福島会場

大小さまざまなハブニングを乗り越えて会場準備が完了。三々五々お集まりいただいたお客さまが新妻代表のお話に耳を傾け肯かかれている様子から眺めて胸をなでおろしました。いわきからはるばるお越しくださった大内さんからは環境アドバイザーとして省エネについてたくさんヒントをいただきました。古屋さんの語りには魂を揺さぶられ、毛利君の歌には元気をもらいました。

(福島市・飯高 千恵子さん)

### ■川越会場

高原さんがラリペラでの現状をスライドを用いて話して下さいました。学校建設、植樹作業、ため池造り、水源探査のための調査など、日本流に言うところ「これって公共事業じゃないの」と思われるような大規模なものでした。これを現地の人々と手作業でやっているというのですから驚きです。

(川越市・横山 三枝子さん)

川越公演では江藤善章さんによるパンフルートの演奏も



### ■鳥取会場

たくさんの「小さな慈愛」に支えられ、「大きな感激」を残しつつ。無事私達は岩国でのキャンペーンを終了できました。私たちの地球も「小さな慈愛」によって、いつまでも美しい星であり続けると確信しています。

(岩国市・香川加代子さん)

### ■山梨県北杜市会場

旅の途中で助けることになったふくろうの子供の帰る森をつくるうなんて思いから始まった活動。途方もないけれど、とびつぎりの夢。そんな夢を実現するために、本当に歩み続けているこの活動には脱帽です。生きものは豊かで不思議な水のめぐりによって、この星に命の営みを練り広げているのです。水のない世界、砂漠は、生きものにとって死を意味します。そんな砂漠に森を甦らそうという彼女たちのプロジェクトには、誰もがそう願う命への共感に溢れています。

(北杜市・風の輪小学校ルン)

### ■仙台会場

新妻さんをはじめ、演奏してくださいました皆さま、本当に素敵な時間と空間をプレゼントしていただき、ありがとうございました。会場に来てくれたお客さま一人ひとりのココロに種を植えることができたと思います。

(仙台市・原 好幸さん)

